

平成27年度
東北大学史料館 事業年報



I 組織概要

(1) 理念・目的と事業内容

東北大学史料館は、東北大学の歴史に関する資料の保存・公開をおこなう、東北大学のアーカイブズ（Archives = 文書館・公文書館）である。

発足間もない2001年度に当時の史料館運営委員会でまとめられた『東北大学史料館の将来構想』では、21世紀の東北大学のアーカイブズとして史料館が果たすべき基本的な役割が、以下の4点に整理し明示されている。

- 一、大学における歴史的情報を学内外に公開し、現代的情報を対象とする情報公開制度との両輪で「開かれた大学」という理念を実現する。
- 二、大学自身の歴史的资料を、長期的な見通しに立った大学改革・大学評価の基礎となる材料として活用し、大学の発展に貢献する。
- 三、収蔵資料を基礎にした大学史に関する研究活動を行い、これを基礎にした大学教育・社会教育活動を行うことで学術研究や地域文化の発展に貢献する。
- 四、アーカイブズそのものに関する研究・教育活動及びその支援を行い、公文書館等各地の資料保存機関で活躍する人材の育成に貢献する。

ここ示された理念の実現のために、史料館では本部事務機構以下の学内諸部局や関係分野の教員との連携のもと、以下の事業を継続的に実施している。

- 1) 学内諸部局に散在する大学公文書を保存期間満了後に歴史的価値評価に基づいて選別集約し、同時に本学の歴史に関する個人文書等の調査・収集を行うことで、東北大学の歴史資料として価値を有する様々な記録資料の集約と保存を図る。
- 2) 史料館に集積された資料を一般の閲覧利用に提供し、同時にそのための利用環境の整備（資料調査・整理および目録・データベースの作成公開）を図る。
- 3) 常設展示や企画展示など東北大学の歴史に関する展示活動や広報誌の発行等を通じて、東北大学の歴史に関する社会教育・普及活動を実施する。
- 4) 東北大学の歴史や資料保存・公開等に関する調査研究活動を実施し、同時にこれらを基礎にした教育活動を行う。

(2) 沿革

東北大学史料館は、昭和38年（1963）7月にわが国初の大学アーカイブズ「東北大学記念資料室」として設置されて以後、半世紀近くにわたって活動を続けている。その沿革は以下のようによにまとめられる。

①『東北大学五十年史』編纂事業と東北大学記念資料室の発足

東北大学では、昭和35年（1960）に『東北大学五十年史』の編纂刊行を終了したのち、編纂事業において調査・収集した資料の保存公開の必要が認識され、1963年（昭和38）7月、「本学の歴史に関係ある記念となる資料を収集、保存するとともに、これを公開活用して、もって本学及び学術の発展に寄与する」ことを目的とする「東北大学記念資料室」が設置された。当時国内にはこうした大学アーカイブズの設置例はまだなかったが、欧米の大学ではアーカイブズが多く設置され始めており、こうした事例を参考にわが国初の「大学アーカイブズ」として発

足した。

当初この記念資料室は附属図書館内に設けられ、職員もまた図書館業務を兼務するなど実質的には図書館と一体的なかたちで運営されていた。しかし1986年10月からは片平地区の旧附属図書館本館閲覧室を単独で使用し、教員についても専任の教員が配置され、実質的にも図書館業務と独立した組織として運営されるようになった。

②いわゆる「情報公開法」の施行と東北大学史料館への改組

平成12年（2000）12月、「東北大学記念資料室」は「東北大学史料館」へと改組された。この「史料館」への転換は、国立大学法人化に向けた学内改組の動きのなかで従来の「記念資料室」のありかたについて再検討を進めた結果、(1) いわゆる「情報公開法」の施行に伴う保存期間を満了した歴史公文書の保存公開体制整備、(2) 『東北大学百年史』編纂事業の伸展に伴う資料受入・保存公開体制のさらなる整備、(3) 本学を代表する一般公開施設としての整備充実、といった観点から必要な改革としておこなわれたものであった。とくに(1)については、翌年4月より保存期間を満了した歴史公文書の評価を史料館が担当することが学内で正式に制度化され、以後歴史公文書にかかる業務が大きな比率を占めるようになった。

なお平成18年（2006）4月には、総合学術博物館・植物園・史料館を「業務組織」として傘下に置く「東北大学学術資源研究公開センター」が設置され、史料館は以後同センターの業務組織となった。その結果博物館等との連携も強めているが、一方で事務担当部局は従来通り附属図書館とされ、図書館との関係も維持されている。

③「公文書等の管理に関する法律」施行と史料館公文書室の発足

平成23年（2011）4月、「公文書等の管理に関する法律」の施行に伴い、国の行政機関や独立行政法人等における公文書管理制度の大幅な見直しがおこなわれることとなった。東北大学においても同法に対応する形で「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」が制定されるとともに、従来から実施してきた歴史公文書の史料館への移管制度をふまえ、同法が「特定歴史公文書等」の保存公開施設として定める「国立公文書館等」に相当する施設として、史料館に新たに「公文書室」を設置することとなった。

公文書室は学術資源研究公開センター史料館の一部門である一方で、総長の指名する副学長又は理事が委員長をつとめる「東北大学公文書管理委員会」のもとで本学の歴史公文書の管理公開を担当する組織としても位置付けられるなど特別な位置づけとなっている。またこうした位置付けに対応し、公文書室関係の事務に関しては総務部総務課が担当している。

また公文書室の設置と同時に、個人からの寄贈資料やその他の大学史にかかる多様な歴史資料を「特定歴史公文書等」と区分して管理・公開するため、「公文書室」と並ぶ室として「記念資料室」を設置し、以後この2室（2部門）体制で、本学の歴史に関する資料の保存と公開をおこなっている。

(3) 東北大学史料館の収集・所蔵資料

「公文書等の管理に関する法律」および「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」にもとづき保存期間を満了した東北大学の歴史公文書の移管を受けるとともに、教職員・卒業生はじめとする関係者の記録など大学の歴史を跡づける多様な資料を収集・保存し公開している。

史料館が収集・管理する資料の概要 (平成27年度末現在)

区分	主な内容 (公開中のもの)
東北大学の歴史公文書	7,383点
東北大学および各部局・学内各種組織が発行する刊行物 (学術誌を除く)	約12,000点
東北大学関係者の個人・関連団体資料	65資料群
東北大学の歴史に関する写真・動画資料	写真資料5,960点 動画資料3点
東北大学の歴史に関する物品資料・記念品等	看板、教育用器具、絵画、印章、衣服、記念品等

(4) 組織・スタッフ

①スタッフ (2015年度)

1) 職員

館長 (公文書室長・記念資料室長)

教育学研究科教授 八 欽 友広

教員等

准教授 永田 英明

助 教 曾根原 理

助 教 大原 理恵

教育研究支援者 (公文書室) 小幡 圭祐 ※協力研究員兼務

事務職員・アルバイト

事務補佐員 高橋 早苗

事務補佐員 (公文書室) 小林 由里

教育研究支援者 相澤秀太郎

事務補佐員 大谷 瞭介

事務補佐員 宮崎 嵩啓

2) 兼務教員

高度教養教育・学生支援機構教授 羽田 貴史

文学研究科教授 安達 宏昭

高度教養教育・学生支援機構講師 中川 学

高度教養教育・学生支援機構講師 串本 剛

高度教養教育・学生支援機構助教 高橋 禎雄

3) 協力研究員

秋田高等工業専門学校教授 吉葉 恭行

岩沼市史編纂室 伊藤 大介

②組織

1) 資料管理・公開業務にかかる組織

「東北大学史料館」全体として本学の歴史に関する資料の管理公開に取り組むと共に、平成23年度より「特定歴史公文書等」の管理を担当する公文書室と、「歴史的資料等」の管理を担当する記念資料室の2室を設置し管理公開業務をおこなっている。

●公文書室

保存期間を満了し移管された本学の歴史公文書、および公文書に準じる性格を有するその他の資料を含む「特定歴史公文書等」の保存・公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第3項第二号に定める「国立公文書館等」としての指定を受けた施設。

●記念資料室

退職教員・卒業生その他の個人等からの寄贈資料を中心とする、東北大学の歴史に関する多様な資料の保存、公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第5項第三号に定める「歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料」を管理する施設としての指定を受けた施設。

2) 事務担当組織

史料館にかかる諸種の事務事項のうち、公文書室に特有の事務については総務部総務課が、それ以外の事務については附属図書館事務部がそれぞれ担当している。

(5) 関係委員会等

①学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

「東北大学学術資源研究公開センター規程」第14条にもとづき、学術資源研究公開センター運営専門委員会の下に設置された、史料館の運営に係る専門的事項の審議をおこなう委員会。

2015年度委員名簿

委員長	史料館長・教育学研究科教授	八 鍬 友広
委員	農学研究科教授・附属図書館副館長	西尾 剛
委員	文学研究科教授	柳原 敏昭
委員	高度教養教育・学生支援機構教授	羽田 貴史
委員	文学研究科教授	安達 宏昭
委員	災害科学国際研究所准教授	佐藤 大介
委員	高度教養教育・学生支援機構講師	中川 学
委員	学術資源研究公開センター史料館准教授	永田 英明
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	曾根原 理
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	大原 理恵

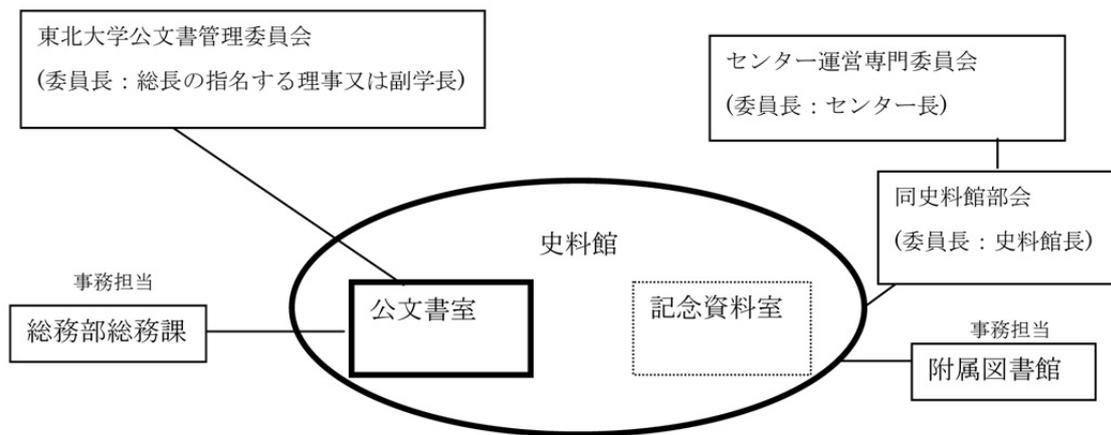
②東北大学公文書管理委員会

「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」第8条に基づき、本学の法人文書および「学術資源研究公開センター史料館公文書室が保存する特定歴史公文書等」の管理に関する重要事項を審議する委員会。

2014年度委員名簿

委員長	副学長	兵藤 英治
委員	総務企画部長	斎藤 仁
委員	史料館長・教育学研究科教授	八湊 友広
委員	総務企画部法務課長	船田 正幸
委員	法学研究科教授	中原 茂樹
委員	学術資源研究公開センター准教授	永田 英明

史料館組織概念図



(6) 施設

史料館本館は1924年に旧附属図書館本館として竣工した鉄筋コンクリート二階建ての施設を使用している。総床面積は1214㎡であるが、うち52㎡は小田滋国際司法裁判所判事記念室に提供中である。またこのほかに、本部1号館（旧理学化学科棟）内の東側約100㎡を歴史公文書庫として使用していたが、平成26年度における東北大学「知の館」新設工事に伴い該当建物が取り壊されることとなり、平成26年3月末で退去せざるを得なくなった。この部分については、代替スペースが確保されるまでの一時的な措置として、平成26年4月以降片平キャンパス内職員宿泊施設（片平会館）の一部を臨時的保管場所として借用している。

なお本館については平成24年度から25年度初頭にかけて、東日本大震災による被災復旧を兼ねた耐震改修工事が実施された。

施設は全般的に狭隘な状況にあり、業務遂行に必要な施設の確保が課題となっている。特に資料収蔵スペースの確保は今後の業務の遂行に不可欠の課題となっている。

施設総面積の推移（単位：㎡）

年度	本館内						館外 倉庫	備考
	合計	執務	展示	閲覧	収蔵	他		
平成22年	909	117	332	28	255	157	104	執務室拡張 (旧百年史編纂室)
平成23年	1162	145	437	100	287	193	104	閲覧室・展示室等整備 (旧法科大学院講義室等)
平成24年	1162	145	437	100	287	193	104	
平成25年	1129	163	406	78	273	209	104	耐震改修工事に伴う使用 区分変更
平成26年	1129	163	406	78	273	209	40	館外書庫は仮移転
平成27年	1129	163	406	78	273	209	40	館外書庫は仮移転

史料館施設利用状況一覧（平成28年3月現在 単位：㎡）

1階・地階	事務室	32	
	教員室1	28	准教授室
	教員室2・ミーティング室	56	助教および教育研究支援者室
	資料研究室	28	協力研究員およびアルバイト作業室
	資料整理室	19	受入資料の荷解・一時保管室
	閲覧室・開架書庫	78	書架延長195m
	書庫A	56	書架延長371m
	書庫B	17	書架延長114m
	書庫C	21	書架延長61m
	地下倉庫（階段含む）	16	物品資料保管室
	倉庫（階段含む）	23	
廊下・便所	120		
2・3階	展示室	406	
	展示準備室	28	展示用品等の保管場所
	貴重資料室	18	美術資料その他の貴重品保管室
	書庫D・E・F・G	79	書架延長463m
	書庫H・I	38	書架延長140m
	廊下・階段室	89	
片平会館	公文書室書庫	40	

収蔵・保存環境整備状況

項目	内容	導入年度
紫外線対策	紫外線吸収膜付蛍光灯（館内収蔵庫等） 展示室外窓紫外線防止フィルム貼付	平成22年度 平成25年度
空調管理	別館収蔵庫空調機 本館内収蔵庫空調機 ワイヤレス式温湿度計	平成23年度 平成24年度 平成24～25年度
地震対策	別館内書庫耐震固定工事	平成23年度
火災対策	書庫内消火器の更新（二酸化炭素消火器）	平成22年度
保存措置用機器	メディカルフリーザー（冷凍燻蒸用） HEPA フィルター付業務用清掃機	平成22年度 平成22年度

収蔵書架延長の推移

	収蔵室書架延長	
平成22年度	1470m	旧百年史編纂室収蔵設備の移管による増加
平成23年度	1570m	開架閲覧室等の整備に伴う増加
平成24年度	1570m	
平成25年度	1570m	
平成26年度	1149m	館外書庫の転出による
平成27年度	1149m	

公開設備

閲覧室・ 開架図書室	専用閲覧室の整備（閲覧室の拡張移転および閲覧機、書架、マイクロスキャナ等 / 広報課総長裁量経費）	平成23年度
	耐震改修に伴う専用閲覧室の再整備	平成25年度
展示室整備	展示室の増設に伴う魯迅記念展示室・企画展示室の整備（広報課総長裁量経費）	平成23年度
	耐震改修に伴う常設展示・魯迅記念展示・企画展示室の再整備（展示室の2階への集約）	平成25年度

Ⅱ 2015年度の活動状況

1. 組織・運営

1-1. 関係委員会の開催

(1) 学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

以下の2回にわたり同部会を開催した。

①第1回（平成27年9月9日（水））10：30～11：30

場 所 附属図書館1号館2階小会議室

出席者 八鍬委員長（館長）、西尾（図・副館長）、柳原（文）、安達（文）、
中川（高度教養）、永田（史料館）、曾根原（史料館）、大原（史料館）

欠席者 佐藤（災害）、羽田（高度教養）

- 陪席者 小幡教育研究支援者（史料館）、下山附属図書館総務課総務係員
- 議 題 (1) 平成26年度事業及び決算報告について
(2) 平成27年度事業の取組状況及び予算について
(3) 第三期全学中期計画にかかる施策について
(4) 協力研究員の委嘱について

②第2回（平成28年1月13日（水））

- 場 所 附属図書館本館2階小会議室
- 出席者 八楯議長（館長）、西尾（図・副館長）、柳原（文）、安達（文）、羽田（高度教養）、佐藤（災害研）、永田（史料館）、曾根原（史料館）、大原（史料館）
- 欠席者 中川（高度教養）
- 陪席者 小川附属図書館総務課長、下山附属図書館総務課総務係長
- 議 題 (1) 史料館長候補者推薦委員会委員の選出について
(2) その他

③第3回（平成28年2月19日（金））

- 場 所 附属図書館本館2階小会議室
- 出席者 八楯議長（館長）、西尾（図・副館長）、柳原（文）、安達（文）、佐藤（災害研）、中川（高度教養）、永田（史料館）、曾根原（史料館）、大原（史料館）
- 欠席者 羽田（高度教養）
- 陪席者 小川附属図書館総務課長、田口附属図書館総務課補佐、小幡教育研究支援者（史料館）、下山附属図書館総務課総務係長
- 議 題 (1) 次期史料館長候補者の推薦について
(2) 平成27年度史料館事業の状況について
(3) 平成27年度史料館予算執行見込について
(4) 平成28年度史料館事業計画（案）について
(5) 史料館利用内規の改正および史料館閲覧室利用細則の制定について
(6) その他
(7) 准教授の任用更新について

(2) 東北大学公文書管理委員会

①第1回（平成28年2月4日～8日）

- 場 所 メールでの書面審議
- 議 事
- [審議事項]

- (1) 東北大学学術資源研究公開センター史料館公文書室利用等要項の改正（案）について

②第2回（平成28年2月15日（月））

- 出席者 兵頭委員長、八楯（史料館公文書室長）、中原（法学研究科）、船田（法務課長）、永田（史料館）の各委員
- 陪席者 大友（法務課文書審査係長）、小幡（史料館公文書室）
- 議 事

- 1) 史料館公文書室内規の制定に関する事項
- 2) 法人文書マニュアル(案)の作成・配付に関する事項
- 3) 史料館公文書室の特定歴史公文書等専用書庫の仮移転状況に関する進捗状況報告

1-2. 学内外からの事業資金獲得状況

(1) 平成27年度全学的基盤経費

学術資源研究公開センター配分経費のうち、史料館企画展・休日開館経費および東北大学デジタルアーカイブズ整備経費として合計1,500千円の配分を受けた。

2. 資料の管理・公開(アーカイブズ事業)

2-1. 資料の受入・整理

(1) 公文書室所管資料(特定歴史公文書・刊行物)の受入・整理・公開

①資料の受入・移管

- 1) 特定歴史公文書(保存期間満了後公文書室に移管された法人文書)

平成27年度特定歴史公文書の受入数 計228冊

平成27年度末保存期間満了文書の評価数 計3991ファイル(うち188点を移管指定)

平成27年度に受け入れた特定歴史公文書(移管元内訳)

総長室	0	財務部調達課	0	法学研究科	3	学際センター	0
総務企画部総務課	7	財務部資金管理室	0	経済学研究科	3	国際高等研究教育機構	0
総務企画部広報課	6	財務部旅費計算室	0	理学研究科	2	加齢医学研究所	2
総務企画部法務課	7	財務部財務決算室	0	医学研究科	11	流体科学研究所	0
総務企画部コンプライアンス推進課	0	研究推進部研究推進課	13	歯学研究科	2	電気通信研究所	4
人事企画部	5	研究推進部産学連携課	2	薬学研究科	2	多元物質科学研究所	3
人事企画部環境安全推進室	2	施設部計画課	2	工学研究科	13	災害科学国際研究所	0
教育学生支援部学務課	2	施設部建築整備課	0	農学研究科	7	図書館	5
教育学生支援部教務課	17	施設部設備整備課	0	国際文化研究科	6	史料館	0
教育学生支援部入試課	8	情報部情報推進課	0	情報科学研究科	6	医学分館	0
教育学生支援部学生支援課	15	情報部情報基盤課	2	サイクロ RI センター	0	病院	3
教育学生支援部留学生課	4	国際交流課	9	生命科学研究科	4	未来科学技術共同研究センター	0
教育学生支援部キャリア支援事務室	3	監査室	0	環境科学研究科	6	WPI	1
財務部財務課	1	文学研究科	4	医工学研究科	0		
財務部資産管理課	0	教育研究科	46	金属材料研究所	15		

②目録の整備・公表

特定歴史公文書の目録公開 計955点（累計7383点）

平成27年度に公開を開始した主な特定歴史公文書

受入年度	点数	主な内容
平成27年度新規受入文書	228点	・各部局の平成26年度末保存期間満了文書 ・教育学部教授会議事録
平成26年度以前受入文書	約700点	・学部長会議関係（昭和20年代） ・工学部学生原簿等（大正8～昭和30年代） ・学術交流協定関係等（1970～80年代） ・大学病院文書（1910年代～80年代） ・附属図書館文書（1920～60年代） ・教養部文書（1970～90年代）ほか

○利用制限区分はすべて「要審査」のまま（未審査状態）。

○平成26年度以前受入分の法人文書のファイル名目録公開は、平成27年度末で完了見込

③資料複製・補修等

評議会議事要録綴 昭和56年度～昭和60年度の電子化

(2) 個人・関連団体寄贈資料等（記念資料室所管）の受入・整理

①新規資料の収集・受入

平成27年度 主な受贈資料一覧（記念資料室分 予定分含む）

資料名	数量	概要・備考
小西保文書（学徒動員関係学生課文書）	8点	遺族より受贈
細谷恒夫資料（学制改革／教育研究関係）	5箱	遺族より／教育学部初代学部長
西正孝氏旧蔵資料（二高・工学部卒業生）	1箱	遺族より
石津照璽資料（学内使用鉄兜／学内行政関係）	2点	遺族より／今後追加受入予定
斎藤報恩会資料（報恩会運営事務文書）	約20箱	

②目録の整備・公表

平成27年度に目録を公表した資料群

資料名	数量	概要・備考
外尾健一文書（法学部教授）	10点（364件）	会議記録等
学生運動ビラ集「東北大闘争史」	2冊（377件）	ビラ集
根本猛雄文書（60年安保関係学生運動資料）	8点（149件）	ビラ、新聞記事等
吉田哲雄氏収集 東北大学学生運動関係資料	2冊（72点）	ビラ集
東北大学交響学部寄贈資料	701点	50年史作成用の写真や記録など
井上秀雄旧蔵古代朝鮮碑文拓本収集関係資料	8種33点	
吉田震太郎文書	144点	ビラ、会議資料など

2-2. 資料利用者への対応

(1) 資料利用状況

月次	閲覧室 利用	特定歴史公文書					記念資料（一般資料）				画像データ提供		出版・ 放映
		閲覧利用		写しの交付		移管元 利用	閲覧		複写撮影 (申請書)				
		人数	人数	件数	人数		人数	件数	人数	人数	人数	人数	人数
4月	14	1	2	0	0	1	2	2	1	1	6	8	9
5月	11	2	8	1	1	0	3	18	1	5	6	52	9
6月	9	8	47	1	2	0	1	5	2	3	8	25	9
7月	14	2	29	2	8	3	3	26	2	3	5	95	5
8月	18	3	10	1	3	0	7	161	0	0	5	10	7
9月	18	6	78	1	2	0	7	76	0	0	3	6	2
10月	13	5	28	1	1	2	4	6	0	0	3	3	4
11月	17	3	30	2	3	0	4	7	1	1	5	13	6
12月	8	0	0	1	2	0	1	10	1	1	5	39	5
1月	7	1	3	0	0	0	1	1	2	2	9	25	11
2月	12	2	3	1	1	0	3	4	0	0	6	42	9
3月	14	3	8	4	19	0	3	8	0	0	9	29	11
合計	155	36	246	15	42	6	39	324	10	16	70	347	87

3. 普及・社会教育事業

3-1. 展示会および関連企画の開催

(1) 常設展示

①「歴史のなかの東北大学」の公開と一時中断

平成17（2005）年4月1日より、東北大学の歴史をテーマにした常設展として公開している。

②魯迅記念展示室常設展「魯迅と東北大学」の公開と一時中断

平成23（2011）年7月より、かつて仙台医学専門学校に留学生として在学した文学者魯迅（周樹人）の留学生生活を主テーマとする展示室として「魯迅記念展示室」を開設。年間を通じて中国人来訪者等を中心に多くの見学者が訪れているが、同様に平成26年秋から一時閉室した。

(2) 企画展示

●企画展示 「東北大生の戦争体験」

- ・ 9/25～1/29：史料館企画展示室／東北学院史資料センターとの連携企画

期間中入場者：2484名

関連イベント：連携ギャラリートークの開催（10/24）

- ・ 3/1～18 附属図書館本館で開催

(3) その他の展示

新規公開資料の紹介を主眼とした「新公開資料速報展示」、いわゆる「モノ資料」の紹介を行う「コレクション紹介展」や、博物館実習Ⅵの受講生による成果発表の展示会など計4回の小規模な「ミニ展示」を実施した。

展示開催状況

常設展示	歴史のなかの東北大学	常設展示室	通年
	魯迅と東北大学	魯迅展示室	通年
テーマ展	東北大学史料館の紹介展示	企画展示室	企画展期間を除く通年
	もうひとつの源流—東北大学の包摂校—	企画展示室	2/12～通年
企画展示	東北大生の戦争体験	企画展示室	9/25～1/29
		附属図書館	3/1～3/18
新公開 速報展	脳脊髄神経の世界的権威—布施現之助文書	企画展示室	4/20～6/30
	教員養成課程の分離独立—総務部総務課・教育学部文書	企画展示室	4/20～6/30
	村山源三郎旧蔵 宮城医学校受講ノート	企画展示室	7/1～9/11
	世界レベルの研究者招聘—ハンス・モーリッシュ関係資料	企画展示室	2/12～
	鶴の一声ちゃ！—林鶴一文書	企画展示室	2/12～
星寮のおひなさま展		企画展示室	2/12～3/11

3-2. 展示室の利用状況

(1) 利用統計

史料館展示室への入場者数 4926人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
日数	10	18	22	22	17	15	30	20	19	19	21	22	235
人数	178	350	308	379	337	243	1527	355	299	200	362	388	4926

※入場者数は、展示室入口においてカウントした

(2) 各種団体等による展示見学・視察への対応

平成27年度の対応件数

来訪者の区分	件数	備考
海外	18件	
国内	15件	
総計	33件	

主な見学団体

日独6大学学長会議オプションツアー一行／中国密教訪日団一行／国際交流基金北京大学現代日本研究センター／石巻市青葉中学校／国連中国シルクロード沿線都市間ネットワーク協力ミッション一行／仙台市姉妹都市アメリカ・リバーサイド市長一行見学／北京理工大学学長ほか一行／中国南海大学外国語学院院长・副院长一行／中国上海大学学長補佐兼理学部長一行／中国南開大学日本語文化研修プログラム、日本語教育研修プログラム一行見学／モスクワ国立大学心理学部学生夏季短期受け入れプログラム一行／中国吉林大学日本語コース学生一行／中国電子科技大学一行／国際キワニス財団会長一行／華南理工大学訪問団一行／南京航空航天大学副学長一行／宮城県観光課上海メディア一行／中国大連市旅遊局副局長ほか一行／国際交流基金プログラム・オフィサー／トライ式高等学院仙台駅前校一行／東京農

工大一行／全国大学史資料協議会一行／東北地区国立大学広報担当課長／文部科学省視察一行／流体研キャンパスツアー一行／東北福祉大学一行／宮城県土木部空港臨空地域課／東北多文化アカデミー一行／化学教室同期会一行／工学部通信工学科卒業生一行／ほか

3-3. 他機関開催の展示会への出陳

展覧会名	会場・開催期間	資料名
伝説の洋画家たち－二科100年展－	東京都美術館 (7/18～9/6) 大阪市立美術館 (9/12～11/1) 石橋美術館 (11/7～12/27)	玉虫先生像 (安井曾太郎画)
医は仁術	東北歴史博物館 (4/18～6/21)	仙台医専文書、 村山源三郎文書ほか12点
学生たちの戦前・戦中・戦後	明治大学史資料センター	学徒隊看板ほか5点
ミッションスクールと戦争	東北学院史資料センター	宮城音五郎日記

4. 教育・研修・学習支援活動

4-1. 教育・学習活動における史料館の利用

(1) 史料館を活用した授業・講習の実施 4件

- ・博物館学「博物館展示論」(水澤教子非常勤講師) 2/4
- ・日本史実習(文学研究科 籠橋俊光准教授) 11/6、20

4-2 全学教育の担当

- (1) 大学教育 ①全学教育科目「東北大学のひとびと」開講 (10月～1月)
②博物館実習(館園実習)の受入：9月14～18日 11名

4-3. 職員研修の担当

2015年度においては、以下の講義を担当した。

- ①大学の歴史に関する講義(初任者) 4、10、1月
- ②公文書管理研修(中堅職員対象) 3月10日 受講者数60名

5. 調査・研究活動

5-1. 学術出版物の発行

(1) 『東北大学史料館紀要』第11号の刊行（2016年3月）

5-2. 研究会等の開催・後援

①全国大学史資料協議会総会・全国研究会の開催

(10/7～10/9) 於東北大学・東北学院大学

10/7 公開講演会「学校資料の保存と活用」（同協議会と当館の共催）

講演者：大平聡氏（宮城学院女子大学教授）

企画展「東北大生の戦争体験」見学会

10/8 研究会「戦後70年と大学史資料」

10/9 見学会（東北大学史料館／仙台市博物館）

②大学アーカイブズセミナーの開催 2回

月日・回数	内容
2015/7/22 (第3回)	戦時下の東北帝国大学（企画展準備） ・小幡圭祐（史料館）「東北帝国大学における科学動員と大学院学生」 ・永田英明（史料館）「東北帝国大学の学徒勤労働員」
2016/3/11 (第4回)	黒田チカ資料の可能性 ・永田英明（史料館）「黒田チカ資料の整理－真島利行書簡を中心に」 ・志賀祐紀（奈良女子大学）「黒田チカ資料の書簡・日記から」

5-3. 学会・研究会・研修会等への参加および報告

全国公文書館長会議・公文書館実務担当者意見交換会（6/8～6/9） 教員1名

国立公文書館アーカイブズ研修（8/31～9/4） 教育研究支援者1名

京都大学大学文書館における研修（1/19～1/21） 教育研究支援者1名

5-4. 科学研究費獲得状況

平成27年度における館員（協力研究員含む）の科学研究費獲得は合計件となった。内訳は下記の通りである。

基盤研究（A）	分担2
基盤研究（B）	分担1
基盤研究（C）	代表1 分担2

6. その他

6-1. 広報・情報公開（ニュースレター・ホームページ）

(1) 『東北大学史料館だより』の刊行

平成27年度は下記の2回発行した。

23号（2015年9月）

巻頭コラム 戦後の東北大学と学生
戦争と大学 福島大学准教授 徳竹 剛
資料の公開について
史料館のうごき
お知らせ

24号（2016年3月）

巻頭コラム 帝大教授の矜持
東北学院史資料センターのご案内 東北学院史資料センター長 河西晃祐
連携企画展開催報告
資料の公開について
史料館のうごき
署名と捺印からみた初代総長・沢柳政太郎 史料館教育研究支援者 小幡圭祐

(2) インターネット等を利用した情報発信

1) 史料館ホームページの改訂

20回の更新を行った

2) SNS による情報発信

Twitter を利用した情報提供を125回にわたり行った。

Facebook ページを開設し、50回にわたる情報提供をおこなった。

史料館日誌抄 (2015/4～2016/3)

平成27年(2015年)

- 4/1 永田准教授、大学の初任者研修で大学の沿革について講義。
- 4/1 小幡圭祐氏が教育研究支援者(公文書室担当)として、着任。
- 4/9 東北歴史博物館「医は仁術」展に資料を貸出。(～6月30日)
- 4/16 史料館ミーティング。
- 4/16 日独六大学学長会議オプションツアー一行(約50名)。
- 4/17 中国密教訪日団一行見学。
- 4/20 展示室の公開再開。
- 4/22 細谷昂名誉教授より資料を受領。
- 5/1 東京大学文書館加藤助教来訪。
- 5/8 仙台文学館「北杜夫-どくとるマンボウの生涯-」展に資料(学生服と帽子)を貸出。
- 5/11 仙台市役所法制文書課の佐藤氏来室。
- 5/12 今年度の「定年退職教員関係事業の案内」を各部局宛てに送信した。
- 5/13 石巻市青葉中学校一行見学。
- 5/15 国際交流基金北京大学現代日本研究センター博士第10期講座・訪日研修一行見学。
- 5/18 高度教養教育・学生支援機構の中川講師とその学生一行の授業見学。
- 5/19 荻野博名誉教授に資料(野副鉄男サイン帖)を貸出。
- 5/21 史料館ミーティング。
- 5/26 徳竹剛福島大学准教授が調査来訪。
- 5/27 史料館代表のメールアドレス変更。
- 5/27 国連/中国 シルクロード沿線都市間ネットワーク協力ミッション一行見学。
- 5/29 仙台市姉妹都市アメリカ・リバーサイド市長一行見学。
- 6/3 トライ式高等学院仙台駅前校一行見学。
- 6/5 東北学院大学博物館と相互訪問および打合せ。
- 6/5 北京理工大学学長ほか一行見学。
- 6/8 永田准教授、国立公文書館館長会議出席のため、東京出張(～9日)。
- 6/9 河北新報夕刊の取材
- 6/9 中国南海大学外国語学院院长/副院长一行見学。
- 6/10 「各部局刊行物の寄贈依頼」を学内内部局に送信。
- 6/11 三上直彦名誉教授と化学教室同期会一行見学。
- 6/12 昼、大学の安否確認訓練があった。
- 6/18 史料館ミーティング。
- 6/19 2階書庫EFに新しい除湿器を設置。
- 6/22 開学記念日(創立記念日)
- 6/22 中国上海大学学長補佐兼理学部長 Prof. Peifen WEN 氏一行見学。
- 6/23 西正孝氏から二高関係資料が届いた。
- 6/24 東北学院大学博物館との打ち合わせ。
- 6/26 「二科100年展」出陳のため、「玉虫先生像」を産経新聞社等へ貸出搬出。
- 7/3 原田夏子氏・大和類子氏及び石津総長来訪。
- 7/7 浅尾豊信・岩泉正基名誉教授と化学教室同窓会一行見学。
- 7/8 高度教養教育・学生支援機構サマープログラム見学会一行見学。
- 7/9 日本経済新聞が取材。
- 7/9 中国南開大学日本語文化研修プログラム、日本語教育研修プログラム一行見学。
- 7/10 書庫 BEF の書架の配置替え工事。
- 7/13 モスクワ国立大学心理学部学生夏季短期受け入れプログラム一行見学。
- 7/16 史料館ミーティング。
- 7/16 東京農工大一行見学。
- 7/22 企画展打合せのため、東北学院史資料センターを訪問。

- 7/22 大学アーカイブズセミナー。
- 1/23 中国吉林大学日本語コース学生一行(永)
- 8/3 ユーメディアと企画展の打合せ。
- 8/6 小幡・吉葉、酒井高男名誉教授宅を訪問。
- 8/11 展示室と閲覧室は夏季休業のため休室。
- 8/12 夏季休暇(～14日)
- 8/17 東北学院史資料センターと企画展等のうち合わせ。
- 8/19 JST さくらサイエンスプラン(中国電子科技大学)一行見学。
- 8/25 ユーメディアと企画展の打合せ。
- 8/31 小幡、国立公文書館研修(～9月4日)。
- 9/7 小田忠雄名誉教授、国際キワニス財団会長一行見学。
- 9/9 学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会。
- 9/10 史料館ミーティング。
- 9/11 台風からの大雨により、交通機関が乱れたために、特別休館とした。
- 9/14 企画展準備のため、展示室休み。(～24日)
- 9/14 午後から、博物館実習(～18日)
- 9/17 企画展ポスター等を学内外に発送。
- 9/24 学術資源研究公開センター運営委員会。
- 9/25 今日から企画展開始。
- 9/25 NHK と TBC の企画展取材。TV のニュースで取り上げられた。
- 9/30 河北新報の取材。
- 10/1 黒田チカご遺族(黒田光太郎氏)来館。
- 10/7 全国大学史資料協議会全国研究会(於：片平さくらホール、東北学院大学)開催。
- 10/7 全国大学史資料協議会参加者一行見学
- 10/8 全国大学史資料協議会全国研究会(於：東北学院大学)に、永田・小幡参加。
- 10/9 全国大学史資料協議会全国研究会の見学会。
- 10/9 東北地区国立大学広報担当課長他一行見学
- 10/10 片平まつり(～11日)。
- 10/15 丸岡章名誉教授ほか工学部卒業生一行見学。
- 10/16 斎藤報恩会資料を同事務局より受領。
- 10/16 文部科学省視察一行見学
- 10/21 同窓会バスツアー一行見学。
- 10/24 企画展ギャラリートーク(永田・小幡)
- 10/29 キャンパスツアー一行見学
- 11/1 秋の特別開館終了。
- 11/6 日本史実習(籠橋准教授)があった。
- 11/6 華南理工大学訪問団一行見学
- 11/9 福島大学徳竹剛准教授ほか学生一行見学。
- 11/10 「本学の歴史に関する資料等の寄贈依頼について」を各部局宛てに送信。
- 11/12 東北多文化アカデミー一行見学
- 11/16 朝日新聞社の取材。
- 11/19 史料館ミーティング。
- 11/24 朝日新聞社の中林記者取材。
- 11/27 「東北大学の人々」の授業見学。
- 12/1 高度教養教育・学生支援機構中川講師および学生一行見学。
- 12/10 中映写真スタジオから、今年度定年退職予定教員肖像写真が納品(40名)。
- 12/10 読売新聞取材。
- 12/14 東北福祉大学富樫先生一行見学
- 12/15 宮城県土木部空港臨空地域課、展示室魯迅関係取材。
- 12/15 仙台市青葉区大沢小6年生校外学習一行見学

- 12/17 史料館ミーティング。
- 12/22 南京航空航天大学副学長一行見学
- 12/24 館内大掃除。
- 12/28 仕事納め。
- 12/29 冬季休業
- 1/4 仕事始め。
- 1/4 永田准教授、初任者研修にて大学の沿革史を講義。
- 1/13 学術資源研究公開センター史料館部会が開かれた。
- 1/14 史料館ミーティング。
- 1/14 宮城県観光課上海メディア（中国人ブロガー）一行見学
- 1/19 小幡、京大大学文書館にて研修のため出張。（～22日）
- 1/26 東北多文化アカデミー一行見学
- 1/28 午後、本学卒業生川又一男さんのご遺族が来館、企画展を見学
- 2/2 宮城県観光課・中国大連市旅遊局副局長ほか一行見学
- 2/3 東北学院大資料センターの河西先生来館。
- 2/4 展示室で博物館学実習（45名、水沢先生）。
- 2/9 当館 HP デジタル・アーカイブズが繋がらない状態。
- 2/10 企画展を撤収。
- 2/10 「星寮のおひな様」展。（～3月15日）
- 2/15 東北大学公文書管理委員会。
- 2/18 史料館ミーティング。
- 2/19 図書館にて史料館部会が開催。
- 2/19 国際交流基金プログラム・オフィサー黄海存氏見学。
- 2/24 永田准教授、東京のお茶の水女子大学に出張。
- 3/1 史料館出張企画展（於：図書館多目的室）。（～3月17日）
- 3/1 読売新聞社藤原記者、魯迅資料について取材。
- 3/1 文学部佐藤事務長他一行（曾）
- 3/1 理化学研究所に黒田チカ資料を貸出。（～30日）
- 3/4 資料 DB 検索システム等説明会
- 3/10 金沢大学の古畑徹教授より岡崎義恵先生資料を受領。
- 3/10 その資料を同日中に文学部東洋史教室の川合先生に貸し出した。
- 3/11 大学アーカイブズセミナー「黒田チカ資料報告会」が開催された。
- 3/11 『史料館だより』第24号と紀要第11号が納品。
- 3/16 図書館出張企画展ギャラリートーク。
- 3/17 史料館ミーティング。
- 3/25 本学学位記授与式。
- 3/31 大内秀明名誉教授他一行見学。

東北大学史料館職員 (2016年11月現在)

※は史料館公文書室の専任職員

館長	八 鋏 友広	(2014年4月1日～)
専任教員		
准教授	永田 英明	(2010年4月1日～)
助 教	曾根原 理	(2006年4月1日～)
助 教	大原 理恵	(2006年4月1日～)
教育研究支援者		
教育研究支援者※	村上麻佑子	(2016年4月1日～)
非常勤職員 (2名)		
事務補佐員	高橋 早苗	
事務補佐員※	小林 由里	
学生スタッフ (5名)		
事務補佐員	清水翔太郎	文学研究科博士後期課程学生
事務補佐員	大谷 瞭介	文学研究科博士前期課程学生
	宮崎 嵩啓	文学研究科博士前期課程学生
	儲 欣予	文学研究科博士前期課程学生
	望月しょう	文学部学生
兼務教員 (5名)		
	羽田 貴史	高度教養教育・学生支援機構教授
	安達 宏昭	文学研究科准教授
	中川 学	高度教養教育・学生支援機構講師
	串本 剛	高度教養教育・学生支援機構講師
	高橋 禎雄	高度教養教育・学生支援機構助教
協力研究員 (4名)		
	吉葉 恭行	秋田高等工業専門学校教授
	伊藤 大介	岩沼市史編纂室
	徳竹 剛	福島大学行政政策学類准教授
	加藤 諭	東京大学文書館特任助教

学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会委員 (2016年度)

委 員 (10名)	八 鋏 友広	史料館長・教育学研究科教授 (委員長)
	柳原 敏昭	文学研究科教授
	安達 宏昭	文学研究科教授
	佐藤 大介	災害科学国際研究所准教授
	羽田 貴史	高度教養教育・学生支援機構教授
	中川 学	高度教養教育・学生支援機構准教授
	西尾 剛	附属図書館副館長・農学研究科教授
	永田 英明	学術資源研究公開センター(史料館) 准教授
	曾根原 理	学術資源研究公開センター(史料館) 助教
	大原 理恵	学術資源研究公開センター(史料館) 助教